



大阪府立東住吉支援学校

地域支援だより

令和8年1月27日

支援相談部

1月号 (HP 掲載)

<車椅子を使用する児童生徒の水泳指導について> ～地域支援の事例紹介～

本校は、肢体不自由教育部門（A 部門）と知的障がい教育部門（B 部門）のからなる知肢併設校です。今回は、車椅子を使用する児童生徒の水泳指導について、地域支援を行った事例をご紹介します。

水泳指導のねらい

- ・水中でのリラクゼーション
- ・安全に楽しく入水する
- ・浮力の中で力を抜いてゆったりと大きく手足を動かす



準備のポイント

- ・平常時の体温や体温調節の可否、水への恐怖心、顔に水がかかっても平気かを保護者と確認
- ・入水時間の目安を設定（又は顔色や体温で判断）
- ・プールサイドに体をおろせるマットを準備
- ・バスタオルは体拭き用とバギー用の2枚を用意
- ・温水のビニールプールを準備（体温低下防止の為。大きいプールの使用後に入ることもある）
- ・緊急時の対応を確認

当日の流れ

- ・体温と健康状態をチェック
- ・入水・退水は二人で行う（プールサイド側と水中側）
- ・必要に応じ初めは抱っこで入る
- ・仰向けの姿勢、浮き具（ライフジャケット等）をつけて浮く、伝い歩き等の活動
- ・終了後はすみやかに着替える
- ・入水後は十分に水分補給する

活動後、「力を抜いてリラックスできた」との報告をいただきました。

その他、避難訓練や運動会、支援グッズの紹介、学習や運動、進路に関するご相談も承っています。気になる児童生徒がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にご相談下さい。

<冬季学習会> ～まなびとつながりのタネ～



12月24日（水）、地域の特別支援教育担当の先生方18名にご参加いただき、事例検討と自立活動についての情報交換を行いました。事例検討では「集団活動への参加に困難を示す児童」をテーマに、支援課題や目標を話し合いました。

また、自立活動に関する質問や相談、支援の難しさへの共感や成功事例の共有など、熱意と温かさに満ちた学びの場となりました。

このような学習会は来年度も夏、冬に開催予定です。ぜひご参加ください。

